

平成31年度 授業実施計画書

学 年	1 年
教科名	総合的な探究の時間
科目名	総合的な探究の時間
単 位 数	1
必修選択区分	必 修
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』
使用副教材	なし

組	科目担当者	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

学習の目標	1 学期	・大学と連携したワークショップを行い「問い」の出し方や探究活動の考え方について考察させる。 ・グループワークやマインドマップの作製により設定課題について多面的・多角的に考察する。
	2 学期	・課題に対して、様々な立場から検討し、想像力を養うとともに、他者性を踏まえた課題解決について理解を深める。
	3 学期	・自己の興味関心や社会的意義を検討して自己の探究課題について考察し、社会の諸問題を主体的に解決しようとする姿勢を養う。
担当者からのコメント	1年生の必修科目であり、体験活動を重視する科目である。 また、授業の中で身につけた考え方は他の教科科目の学習と相互に関連するものである。	

成績評価	観点	1 自己の興味関心や社会的意義を検討して探究課題を設定できたか。 2 体験学習に対して積極的に取り組めたか。 3 テーマに対する課題などに十分に取り組めたか。
	方法	体験活動への参加状況および活動の様子を観察、テーマに対する課題等の内容および提出状況を通じて、社会貢献することの意義の理解、社会に対する視野の広がりや社会の一員としての自覚を評価する。

授 業 計 画	学 期	時間	指 導 内 容	備 考
	1 学期	中間	6	・「人間と社会」の目標 ・演習活動 高大連携ワークショップ
期末		6	・演習活動 夏季課題事前学習(課題設定と資料の収集)・体験活動	
2 学期	中間	7	・課題に対して、様々な立場から検討し想像力を養うとともに他者性を踏まえた課題解決について理解を深める。	校外で社会貢献活動を行う。
	期末	7	・地域の企業と連携し体験学習を行い協働や対話的思考の方法について学び、その結果を発表させる。	
3 学期	学年末	9	・個人の興味関心について先行研究や資料を収集し、前時までの習得内容を応用する。 ・問題意識・先行研究を踏まえ、個人課題と設定理由及び探究方略をレポートにまとめる。	